

設問1 次の設問で内容の正しいものには○を、間違っているものには×をつけなさい。

○×記入欄

- 例題

全日本宗教用具協同組合が定める仏壇の日は毎月27日である。

○
- 問1

摩耶夫人は釈尊を身ごもった時、白象が胎内に入る夢をみた。

○
- 問2

釈尊がはじめて説法したのは祇園精舎である。

×
- 問3

玄奘三蔵は唐代の僧で、インドから持ち帰った経典を漢訳した。

○
- 問4

天台宗の本山である金剛峯寺は和歌山県の高野山にある。

×
- 問5

『法華経』は極楽浄土を説く浄土経典のひとつである。

×
- 問6

天神信仰の天神とは菅原道真のことである。

○
- 問7

真宗高田派本寺専修寺の起源は親鸞が現在の栃木県真岡市高田に専修念仏の道場を建てたことから始まる。

○
- 問8

時宗の総本山は神奈川県藤沢市にある清浄光寺である。

○
- 問9

大本山天龍寺（京都）、大本山方広寺（浜松市）、大本山佛通寺（三原市）はいずれも臨済宗の大本山である。

○
- 問10

日蓮宗の三宝尊は宝塔を中心にして釈迦如来と阿弥陀如来を配するものである。

×
- 問11

『三帖和讃』とは浄土宗の聖典である。

×
- 問12

和魂、荒魂とは江戸時代の国学者によって称えられたものである。

○
- 問13

仏壇の源流には持仏堂、魂棚、道場などがある。

○
- 問14

右の脇侍は天台宗のものである。

×
- 問15

右の印は阿弥陀如来の定印である。

×
- 問16

卒塔婆の先端は仏教における宇宙観の五大を意味する空風火水地を表現している。

○
- 問17

1947年11月5日生まれの方が2017年11月3日に亡くなった場合は数え年で69歳である。

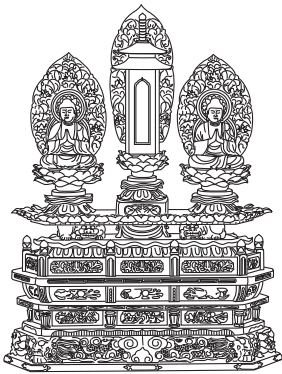
×
- 問18

生前に死後のための供養を行うことを逆修と言う。

○
- 問19

四十九日の間、死者は「香」を食するとされることから、渦巻き線香が焚かれる。

○



問10



問14



問15



問16

採点欄

--	--

(前頁よりの設問の続き 設問1 次の設問で内容の正しいものには○を、間違っているものには×をつけなさい。)

○×回答欄

問20 故人の祥月命日に合わせてお寺様に来て頂くことを月参りと呼ぶ。 ☐

問21 神道では毎年の命日に正辰祭せいしんさいと呼ばれる神事を行う。 ☐

問22 仏壇において宮殿は「くうでん」と読むのが習わしである。 ☐

問23 漆は湿度が低いほどよく硬化する。 ☐

問24 呂色工程で油砥の粉、水砥の粉などで炭研ぎによる傷を消す作業を胴摺りと呼ぶ。 ☐

問25 右のような塗りを虫喰いと呼ぶ。 ☐

問26 金箔を鏡面に仕上げることを重押しと呼ぶ。 ☐

問27 上質の漆樹液が採取されるのは秋から冬にかけてである。 ☐

問28 北米で産出される米檜葉べいひばの仏壇公正競争規約での表示用語は「檜」である。 ☐

問29 MDFとは木材チップの繊維を主原料とし合成樹脂塗料を加えて成型した木質繊維板である。 ☐

問30 ウォールナットは北米や欧州で産出される。 ☐

問31 右の木面は柾目である。 ☐

問32 F☆☆☆☆エフ・フォースターはホルムアルデヒド放出量等級で最も優れたものである。 ☐

問33 花梨 (Pterocarpus属) は仏壇公正競争規約の表示用語として「紫檀」と表示できる。 ☐

問34 ホワイトシカモアはクワ科の樹木である。 ☐

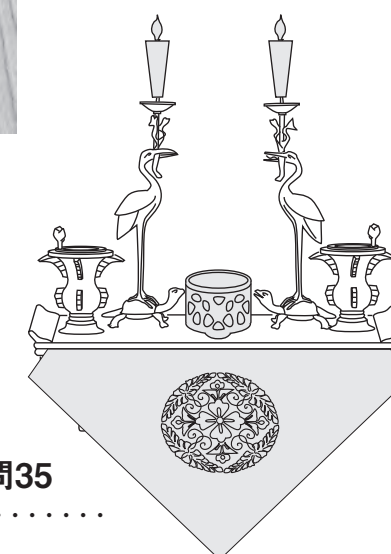
問35 右図の荘厳は浄土真宗本願寺派のものである。 ☐

問36 木魚やリンなど音をならす仏具のことを梵音具と呼ぶ。 ☐

問25



問31



問35

採点欄

--	--

(前頁より設問の続き 設問1 次の設問で内容の正しいものには○を、間違っているものには×をつけなさい。)

○×回答欄

- 問37 ^{もっそう}盛槽とは焼香のための灰を盛り上げる道具である。 ☐
- 問38 ^{がいじ} 孩子・^{がいによ} 孩女は子供の戒名に付けられる。 ☐
- 問39 右の写真は鋳型に溶解した金属合金を流し込んでいる様子である。 ☐
- 問40 ベトナムやタイで産出される沈香はシャム沈香と通称される。 ☐
- 問41 ^{はぜ} 燭蠟は動物性の蠟燭原料である。 ☐
- 問42 グリーフケアとは死別による悲嘆、喪失感を持つ人の立ち直りを支援することを言う。 ☐
- 問43 仏壇公正競争規約は公正取引委員会と消費者庁が認定・承認した業界の自主ルールである。 ☐



設問2 次の設問の語句で正しいものには○を、間違っているものには×を下の回答欄に書いてください。

例題

例題 真言宗の宗祖は《道元》である。

×



《 問1 四天王寺（大阪市） 》の釈迦三尊像は止利^{くらつくりのとり}仏師（鞍作止利）が作ったものとされ、飛鳥時代を代表する仏像のひとつです。

天平時代になると写実的な仏像が多く登場しますが、興福寺（奈良市）の六臂^{ろっぴ}の童子像である阿修羅像は《 問2 鋳造^{ちゅうぞう}仏 》として知られています。

平安時代初期は《 問3 密教 》が伝えられた影響により、明王像などが登場するなど、仏像の種類も広がり、《 問4 一木造^{いちぼくちょう}り（一木彫） 》と

呼ばれる1本の木から彫り出す仏像も多く作られるようになります。平安時代中期以降は浄土教が広がりますが、宇治平等院の阿弥陀如来像は

《 問5 定朝 》による寄せ木造りの仏像です。平安時代後期から鎌倉時代には慶派の仏師が活躍しますが、《 問6 運慶 》と快慶は東大寺仁王門の

金剛力士像（仁王像）制作に携わりました。鎌倉時代には禅宗^{ちんそう・ちんぞう}の影響を受け、頂相と呼ばれる《 問7 来迎図 》が登場します。

	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7
設問2 ○×回答欄	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

採点欄

--	--